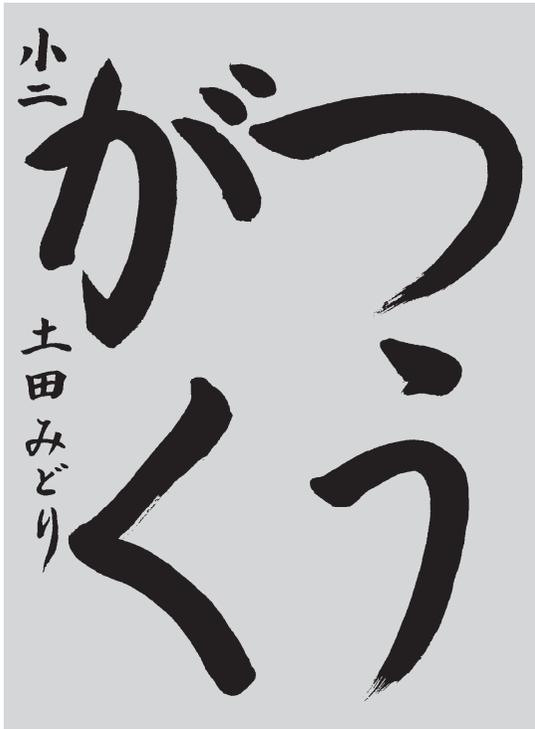


〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

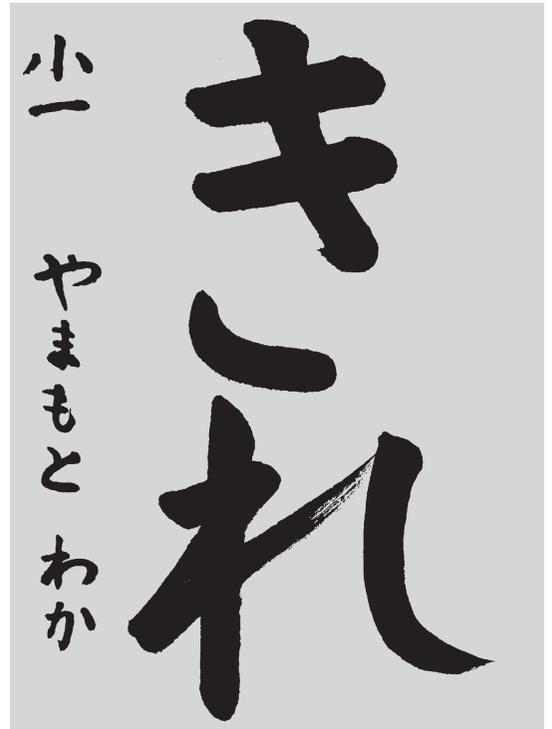
※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学2年参考手本

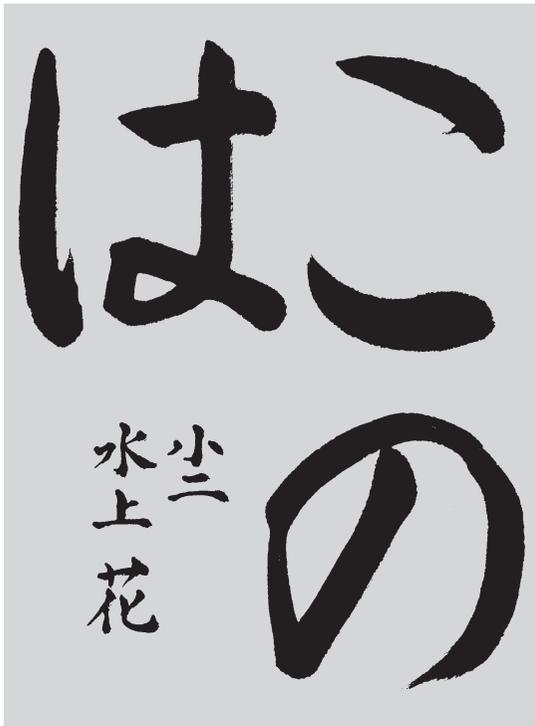


土田 詢 扇 先生

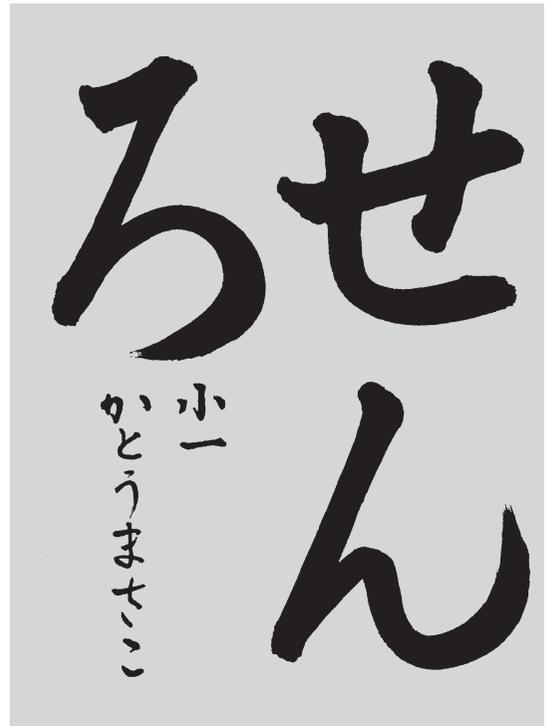
幼・小学1年参考手本



太田 蓮 紅 先生



東原 扇 桜 先生



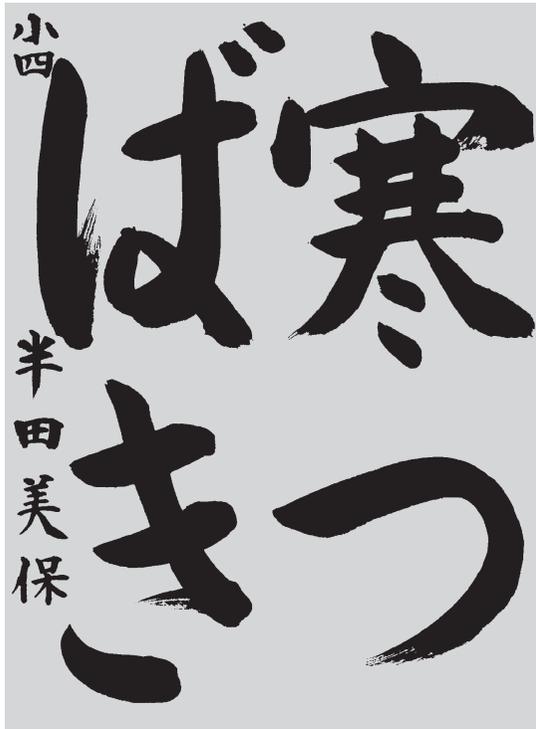
石井 明子 先生

〔12月 8 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

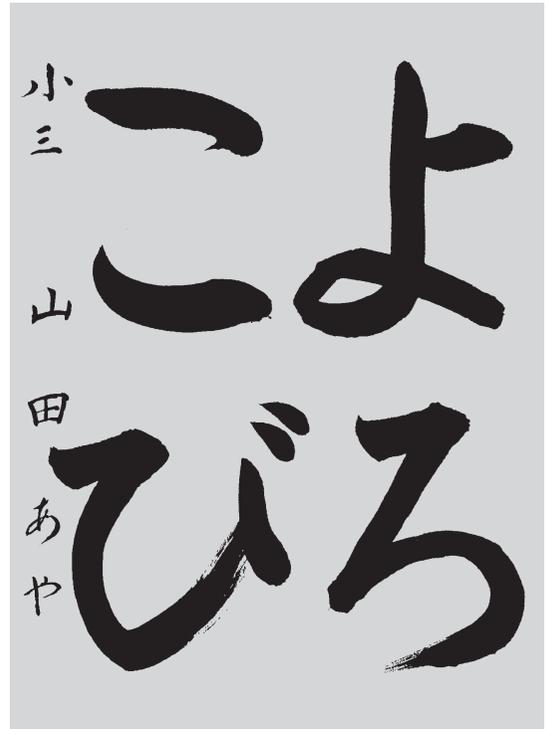
※12月 8 日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学 4 年 参考 手本



半 田 藤 扇 先 生

小学 3 年 参考 手本



依 岡 紫 峰 先 生



木 村 船 翠 先 生



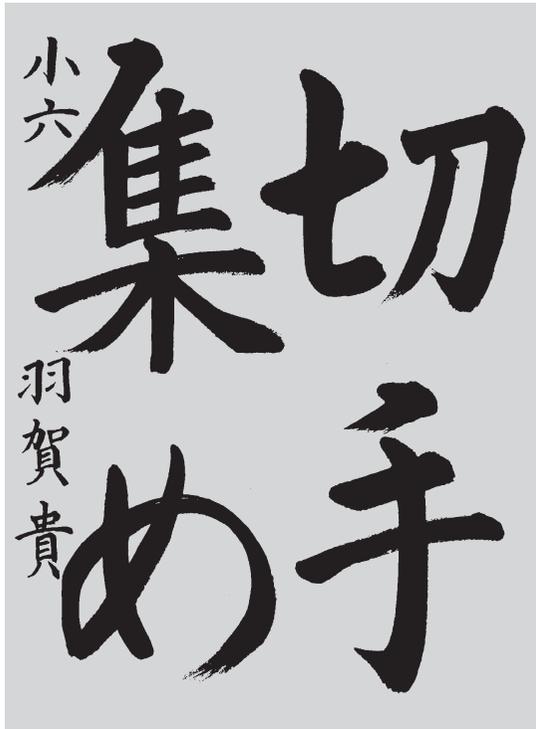
小 伏 小 扇 先 生

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学6年参考手本

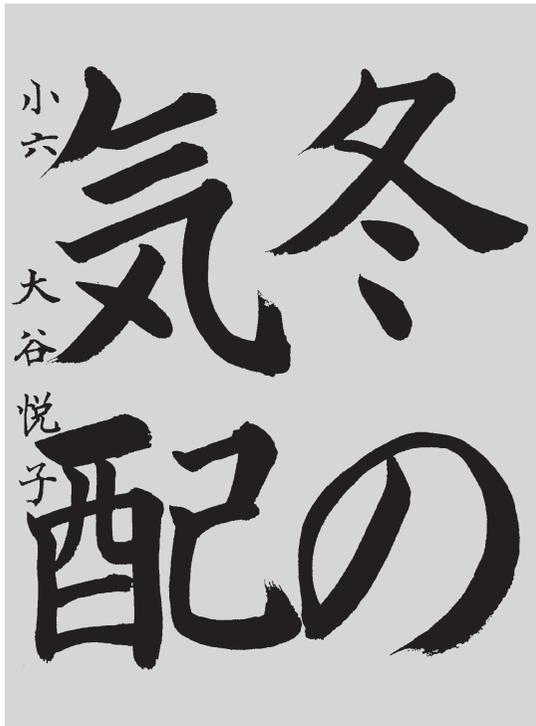


種谷萬城先生

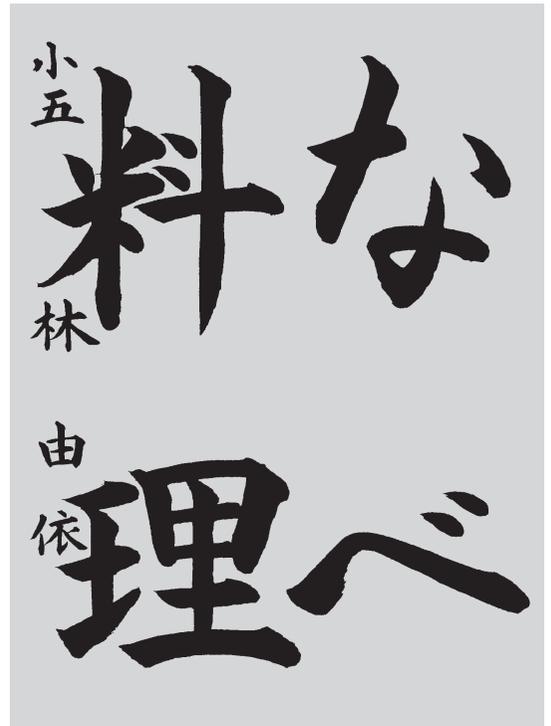
小学5年参考手本



牧泰濤先生



小林琴水先生



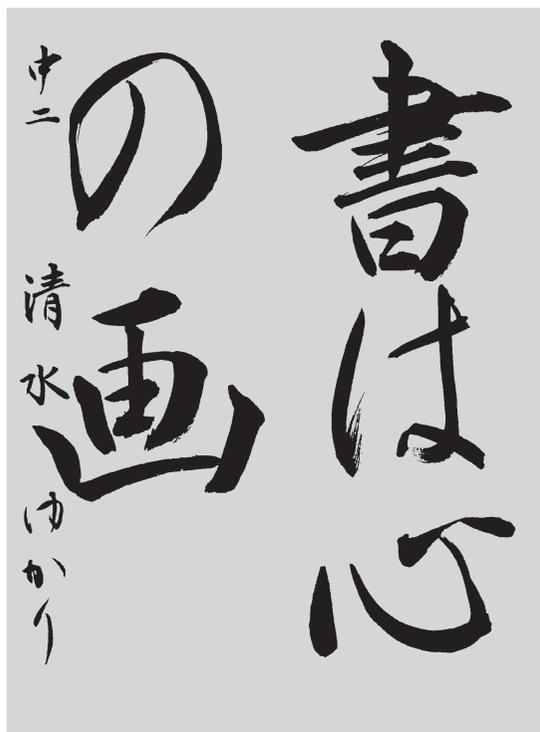
小竹石雲先生

〔12月 8 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※12月 8 日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

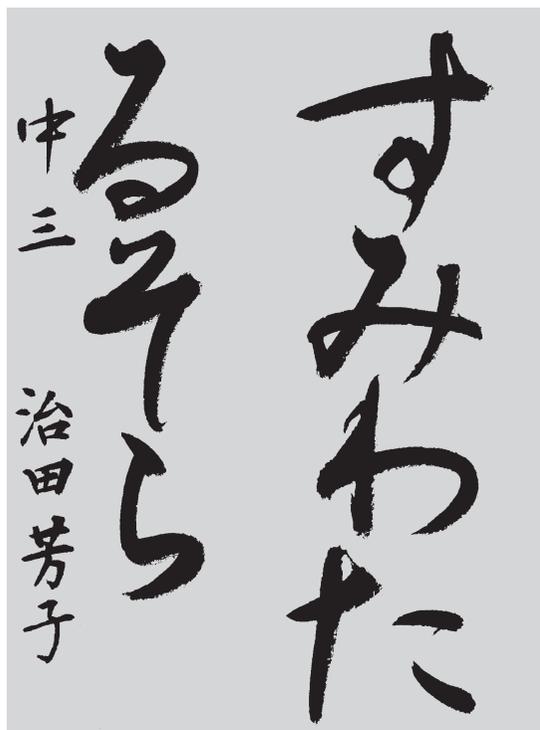
中学全学年参考手本 (中学生は、どの課題を書いてもかまいません。)



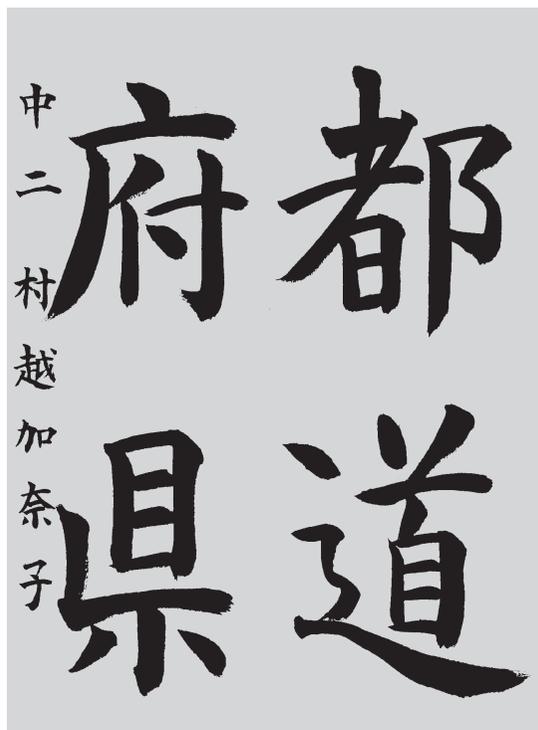
辻元大雲先生



板垣洞仙先生



下谷洋子先生



恩地春洋先生

〔12月8日締切課題〕

幼・小 学 1 年

硬筆参考手本

筆者 恩地春洋先生
解説

〔12月8日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(二、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

支 部 名			
	え	大	
だん・きゅう	て	き	
	い	な	
がくねん	ま	な	
一	す	木	
なまえ	。	が	
		は	
	ま		
	っ		
	い		
	る		
	な		

『大きな木』
左右のはらいを、ていねいにかきましよう。
いったんとめてから、のびやかにほうちゅうい
左右のはらうほうこうにちゅうい

ちゅうしん 中心
1 2 3 4
つづけるまじみちで
四かくめのいちにちゅうい
むすび

とめる
みまが
やや右すり

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学5年

小学4年

支 部 名	神	配	
	経	を	し
段・級	を	感	か
	集	じ	は
学 年	中	、	、
名 前	さ	大	何
	せ	き	者
	た	な	か
	。	角	の
		に	気

支 部 名	る	ん	
	か	な	会
段・級	を	気	話
	考	持	文
学 年	え	ち	は
名 前	て	で	、
	読	話	だ
	も	し	れ
	う	て	が
	。	い	ど

中心

集

長く書く

・とめる

佳（ふるとり）

分間を正しく整えて書きましょう

経

とめる

はらいの方向に注意

感

とめる

〈筆順〉

咸 十 心

ノ 厂 尸 咸 咸 咸 感 感

『しかのさんぽ』
かん字の組み立てを理解して字形を整え
ましょう。

読

士：下がみじかい

「へん」小、「つくり」大

考

一画で書く（ら）

三画目（横画）を長く書く

持

はね

1 2 3

〈ま（てへん）の筆順〉

『会話文』
「へん」と「つくり」の組み合わせを考
えて書きましょう。

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中学生

小学6年

支 部 名	木のくせを知り、適材適所に使 ったときこそ千年の風雪に耐える 建物をつくることができ。
段・級	
学 年	
名 前	
阿 部 真	

支 部 名	「狂言」は、室町時代 新鮮な民衆劇として観 客に喜ばれました。
段・級	
学 年	
名 前	
中 鉢 ひな	

耐 物 建 雪 風

「木のくせ」
 特に「建物」の字形を正しく整えましょ
 う。
 〈簡単な行書〉
 三画目左から右へ（許容字体）
 「雨」（あめかんむり）の点の
 つづけ方いろいろよし
 「ヨ」の終画は、しっかり上
 部を受け止める
 又（えんにょう）の上に聳を
 乗せるつもりで工夫
 ななめ分間を整えて
 牛（うしへん）
 画と画をつづけて書く

観

※「狂」「鮮」は常用漢字です

曲がり
 縦画を出す

劇

筆順に注意
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

衆

筆順に注意
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
 八画目のタテ画を中心として
 左右のはらいをつりあいよく
 書こう

「狂言」

画数の多い字形を整えて書きましょう。

学習指導要領・国語（書写）抄録

（平成20年3月28日告示）

	小学校	第1学年 及び 第2学年	ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。 イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。
	小学校	第3学年 及び 第4学年	ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。
	小学校	第5学年 及び 第6学年	ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。 イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。 ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
	中学校	第1学年	ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
	中学校	第2学年	ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。
	中学校	第3学年	ア 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。



3年	火	カ ひ ほ	丶	ノ	少	火			
4年	寒	カン さむ・い	宀	宀	宀	宀	寒	寒	
	音	オン イン おと ね	丶	宀	宀	立	音	音	
5年	遠	エン オン とお・い	土	吉	声	声	声	遠	遠
	島	トウ しま	丨	冂	冂	鳥	島		
	料	リョウ	灬	米	米	料	料		
6年	切	セツ サイ き・る き・れる	一	七	切	切			
	集	シュウ あつ・まる あつ・める つど・う	イ	イ	竹	竹	隹	集	
	配	ハイ くば・る	冂	酉	酉	酉	酉	配	
中学	識	シキ	言	訖	語	識	識	識	
	府	フ	丶	宀	广	广	府		
	画	ガク カク	一	冂	冂	而	画	画	

行書を学ぼう (160)

(中学生の課題より、恩地春洋先生書)

府 都 知
 府 都 知
 県 道 識
 県 道 識

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

ひらがなの字源 (160)

ら	そ	る	た	わ	み	す	
良	曾	留	太	和	美	寸	源字
ら	そ	る	た	わ	み	す	字形

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
 全国大学書写書道教育学会編より転載

12月8日締めきり

第34回「書の教室」書初め誌上展

出品規定の要旨

一、作品

- (1) 紙の大きさ——小画仙全紙1—4
(たて約70cm×よこ約35cm)
- (2) 文 字——課題文字による
- (3) 書 体——小学生は楷書
中学生は楷・行書
- (4) 名前の書き方——「学年」「氏」「名」を本人が書く。(幼・小一は学年を書かなくてもよい。)

二、出品手続

- (1) 出品 票——所定の様式
- (2) 出 品 料——一点 六〇〇円
- (3) 締めきり日——22年12月8日(水) 必着
- (4) 出 品 目 録——所定の様式
- (5) 出 品 点 数——一人一点
(個人一点でも出品可能)
- (6) 出 品 先——全日本学校書道連盟
〒101 0031 東京都千代田区東神田1-16-7
東神田プラザビル3階

三、審査

個人賞——大賞、準大賞、新春賞、会長賞、副会長賞、連盟賞、他
団体賞——優勝、準優勝

四、成績通知

明年1月7日(金)
「書の教室」誌上(3月号)に、上位の方は写真を、特別賞の方は氏名を発表。

五、作品の返送は無料。

※お問い合わせは、全日本学校書道連盟書初め誌上展係へお願いします。

課 題

- 幼・小一年生用 「くさ」 「みち」
- 小学校二年生用 「かめ」 「はな」
- 小学校三年生用 「ゆき」 「大空」
- 小学校四年生用 「子馬」 「向上」
- 小学校五年生用 「平野」 「努力」
- 小学校六年生用 「交流」 「実行」
- 中学校一年生用 「初心」 「成功」
- 中学校二年生用 「志望」 「前進」
- 中学校三年生用 「誠実」 「真理」

※昨年(第33回書初め誌上展)出品された先生には、出品に必要な書類一式を募集規定と一緒に10月中にお送りする予定でおります。

※新規出品される先生は、電話か文書(ハガキもしくはFAX)にてお申し出ください。
なお、書道芸術院の審査会員の先生には、募集規定のみお送りいたします。

編集余録

○チリ北部コピアポ郊外のサンホセ鉱山落盤事故を皆さんはテレビ等で知っていますね。地下約700mに閉じ込められた作業員33人の救出作業は急ピッチで進み、最後の作業員となるリーダー役のルイス・ウルスアさん(54)が救出カプセルで地上に引き上げられました。これで33人全員が8月5日の事故発生から69日ぶりの無事生還を果たし、奇跡的な救出劇は幕を閉じました。

○今回の大成功には幾つもの要因がありました。第一にはルイス・ウルスアさんのリーダーシップのすばらしさ。地下700mの暗黒に閉じ込められいつ地上から助けが来るかどうかの不安と焦りでおしつぶされそうな極限状態の作業員に「助けが必ず来る。絶対に希望を失うな」と言い続け、時にはパニック気味になり、けんかもした仲間達がまとまっていった。長期戦になる事を想定し食糧配給の規則を決め、48時間おきにスプーン2杯のツナとミルク1杯をみんなが守った。仲間、運命共同体とも言える本当の連帯感がそこから生まれたのでしよう。

○地上部隊の活躍もすばらしかった。何とか全員の命を助けた。その願い、祈りが形になり全部の力が結集されたその結果です。一人の命の大切さ、その人を取り巻く人間模様、命の大切さをもう一度みんな考えてみましょう。

(鄭街)

漢字に親しもう

⑨

十二月号五年生の課題「なべ料理」を見て「魚」を思い出しました。今月は「魚」について考えてみたいと思います。



魚

画数 11
部首 魚(うお)
おん ギョ
くん うお・さかな

いみ・じゆく

- ① さかな。魚市場・魚類・魚介。魚拓・金魚・海水魚・熱帯魚・養魚
- ② さかなの形に似ているもの。魚雷・人魚・木魚

つかいかた

- 池で魚をつる。
- 川べりにある魚市場。
- 鮮魚を商う店。
- 煮魚の料理。
- 魚類図鑑で熱帯魚の名前を調べる。
- * 魚河岸
- * 雑魚

参考

さかなの形をかいた字。



「魚へん」の漢字

